

食物アレルギーの診断

食物アレルギーの正しい診断

特定の食品に対して①食べる②触れる③身体に付く④吸い込む、など、アレルゲンが体内に入ることによって何らかの症状が出る（出たことがある）ことを、大前提とします



加えて、その食品に対するアレルゲン検査が陽性（＝免疫学的機序の証明）であれば、**食物アレルギーの診断が確定**

アレルギー検査は陽性
↓
でも、食べることができる

これは食物アレルギーではありません

一度も食べたことがない食品でアレルギー検査が陽性を示した場合は、
食物経口負荷試験によって診断を確定します。

アレルギーの各種検査法

①血液検査

- ・ IgE CAP-RAST法など
血液中のIgE抗体を直接測定

②皮膚テスト・・・皮膚の中のマスト細胞の反応を利用 ・ プリック（チクリと刺す）テスト



血液検査・皮膚検査だけでは
実際にアレルギーがあるかどうか
アレルギー症状が出るかどうか
確実なこととは言えません

食物負荷試験結果および皮膚テスト IgE CAP-RAST陽性率

アレルゲン	食物負荷試験	IgE CAP-RAST	皮膚テスト
非加熱全卵	600/974(62%)	760/927(82%)	429/501(86%)
加熱卵白	167/248(67%)	212/224(95%)	74/81(91%)
卵黄	67/224(30%)	153/192(80%)	154/173(89%)
牛乳	533/941(57%)	693/847(82%)	342/436(78%)
小麦	139/350(40%)	274/330(83%)	128/170(75%)
大豆	33/153(22%)	106/142(75%)	47/76(62%)
(鶏肉)	0/6(0%)	2/6	4/6
合計	1539/2896(53%)	2200/2668(82%)	1178/1443(82%)

食物負荷試驗

<食物負荷試験>

アレルギーの対照となる食物を実際に食べてみて
その反応を見ることにより診断を行う試験

目的は...

①食物アレルギーの診断

対象となる食物を本当に食べられないのか？

②食物除去解除の指標

対象となる食物を食べられるようになったか？

③食物摂取の閾値量の設定

対象となる食物をどれくらい食べられるのか？